

令和6年度 滋賀短期大学附属高等学校 学校評価

教育目標 『自ら考え行動し、誠実で思いやりのある生徒の育成』

評価領域		質問内容	総合評価	
			自己評価	学校関係者評価
学校評価	1	教育方針や教育目標にそった特色ある学校づくりを行っている。	A	A
	2	分掌、学年間の連携が円滑に行われ、学校が有機的に機能している。	A	A
学習指導	3	生徒の能力、進路希望に応じた教育課程を編成している。	A	A
	4	授業の方法や内容を改善し、生徒にわかる授業を行っている。	A	A
生徒指導	5	基本的な生活習慣を身につけさせ、挨拶の励行を推し進めている。	A	A
	6	社会規範やルールの遵守のため、適切な指導が行われている。	A	A
	7	他人を思いやる態度を育て、いじめのない学校生活が送れるよう努めている。	A	A
進路指導	8	将来を見通した進路選択のため、きめ細かに指導している。	A	A
	9	進路に関する情報を適切に提供できるよう努めている。	A	A
特別活動等	10	部活動を通して生徒の人間形成を図るとともに、活性化にも努めている。	A	A
	11	行事を通して、さわやかなクラス・学校づくりに努めている。	A	A
学校図書館	12	読書の楽しさ、大切さに気づかせる指導をしている。	A	A
	13	教科や「総合的な学習の時間」を支援し、読書意欲を育てている。	C	A
保健・安全指導	14	健康診断や検診を通して、生徒の健康管理に努めている。	A	A
	15	カウンセリング等を通して、生徒の個々の問題に真摯に対応している。	A	A
人権教育	16	人権が尊重される明るく生き生きしたクラスづくりにに努めている。	A	A
	17	映画鑑賞や講演会を通して、人権を尊重する意識を高めている。	A	A
環境教育	18	整理整頓や清掃活動を励行し、校内美化を推進している。	A	A
	19	ゴミの分別や校外清掃など、積極的に環境美化活動を行っている。	A	A
事務・管理	20	施設・設備の定期的な点検を行い、安全管理に努めている。	A	A
	21	教職員は保護者等の来校者や電話に丁寧に対応している。	A	A
	22	教職員は、それぞれの資質向上の研修に参加し、指導力向上に努めている。	A	A
学校の取り組み・その他	23	学校と保護者の連携による活動を活発に行っている。	A	A
	24	学校の教育活動をホームページ等で分かりやすく説明している。	A	A

(注)

- ・自己評価は教職員による評価。
- ・学校関係者評価は、保護者会・同窓会・後援会・地域の小中学校長等により構成された評価委員会が自己評価の結果について評価することを基本として行う評価。
- ・ABCDの基準は、肯定的な評価が75%以上をA、50%以上75%までをB、25%以上50%までをC、25%未満をDとする。